

8. 中国（地域別調査機関：（社）中国地方総合研究センター）

（-：回答が存在しない、_：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計 動向 関連	良くなる	一般レストラン（店長）	・客の声で、今回のボーナスは良いと言う声を多数聞き、その分、外食に使ってもらえる。
		通信会社（総務担当）	・消費者の購買意欲が上がってきていて、商業施設への来客数も増加してきている。
		美容室（経営者）	・新規顧客の来店をねらうためにリニューアルし、企画を練っている。
	やや良くなる	商店街（代表者）	・客の様子から、少し明るい雰囲気は漂っており、秋物需要と絡めば、少しは良くなっていく。
		商店街（代表者）	・オリンピック需要に期待が持てる。
		百貨店（売場担当）	・ボーナスの時期になり、また秋物受注会でも良い成績であった。
		スーパー（店長）	・客の購買意欲が高まってきており、買上点数などが上向いている現在の傾向が続く。
		スーパー（総務担当）	・総額表示にも慣れた感があり、販売点数の増加に伴い客単価が微増だが上がってきている。
		コンビニ（エリア担当）	・客単価も堅調で客数も伸びてきている。長時間スーパーが時短形態変更したり、競合もスーパーも出店がなく、市場が落ち着いてきている。 ・ビル建設や公共事業などの活性化により、ブルーカラーの購買率が高くなってきて、単価も高く、売上に貢献しており、景気は良くなりつつある。
		衣料品専門店（地域ブロック長）	・客が以前のように価格ばかりを気にしなくなったので、今後の売上増に結び付く。
		衣料品専門店（地域ブロック長）	・来客数が回復してきたため、今後も売上増が見込まれる。
		衣料品専門店（地域ブロック長）	・去年は冷夏であり、今年は夏物の販売量が増加する。
		家電量販店（店長）	・今年例年並みの暑さによる季節商品の売上増、オリンピック関連でAV関係を中心に売上が増える。
		家電量販店（副店長）	・大型、薄型テレビを中心とした映像関係の商品の動きが良くなっている。8月の大きなイベントが近づくにつれてますます活発になる。
		家電量販店（予算担当）	・オリンピックによる売上減の反動が予想されるが、それほど落ち込みはない。
		自動車備品販売店（経営者）	・販促施策を打つと高額品に動きが出るなど、徐々に回復の基調にはある。
		その他専門店〔スポーツ〕（店長）	・7月1日より、オリンピック関連のキャンペーン企画を全社挙げて強力に推進する予定で、店内もかなり盛り上がり、顧客への露出効果も大きい。
		その他専門店〔書籍〕（従業員）	・人気シリーズの新刊が出て、商品面で動きが現れる。
		都市型ホテル（経営者）	・高校総体があり、宿泊業界全体が潤う。
		都市型ホテル（総務担当）	・一般的な景気回復傾向の中で、現在の来客数と単価の増加傾向が、引き続き続く。
タクシー運転手	・最近、利益はないが売上は伸びている、という声をよく聞く。 ・天候のため売上が昨年並みに戻ってきた。		
通信会社（企画担当）	・ウィルスなどで、セキュリティ商品への関心度が高まってきており、徐々にではあるが、インターネット接続商品へのオプション商品としてのセキュリティ商品の普及が進む。 ・動画コンテンツも含め、ブロードバンド接続商品に乗った商品の購入が進み、客単価、販売量とも増加する傾向。 ・夏休みに向けて、各種イベントを計画しており、その効果で、現状よりは回復する。		
テーマパーク（財務担当）	・お盆レースで集客数、発売金額の増加が望める。		
競艇場（職員）	・7月中旬までの各種修繕工事の間は、かなり厳しい営業状況になると考えているが、その後については改装と修繕の効果から大幅なプラスに転じる。		

	住宅販売会社（経理担当）	・大型の新規発売物件にかかわる、チラシやテレビ広告などのキャンペーンによりモデルルームへの来場者の増加及び契約数の増加が期待でき、既存物件の契約にも結び付
変わらない	商店街（代表者）	・若い経営者の開店、行政の指導による高校生のチャレンジショップの開店などもあるが、一過性の話題にしかならず商店街の集客に結び付くものにはなっていない。 ・女性経営者によるまちづくり運動が最近活動を始めたので、今後話題づくりとして期待している。
	商店街（代表者）	・中小都市の中心市街化活性化が非常に遅れており、停滞感が漂う状況が続いているので、ここ数か月で良くなるとは考えられない。
	商店街（代表者）	・来街者が少ないため、引き続き今と変わらず悪い。
	百貨店（販売促進担当）	・来月以降、大きな商況が控えているが、6月のお中元早期割引での売上が純増となるのか単価減となるのか、分からない。 ・セールについては大きな増加は見込めない。
	百貨店（販売促進担当）	・中元は、引き続き好調に推移していくと見込んでいるが、主力の衣料品に関しては、5～6月の動きの非常な鈍さから、バーゲンになって価格が下がっても、急激に回復するとは考えられない。
	百貨店（購買担当）	・現在、晩夏、初秋物をセール品を含め展開しているが、例年であれば上顧客を中心に購買が見られるものの、本年度は、ほとんど購買に結び付いていないことと、現在展開中の秋物の中に売筋商品が見当たらないことから、9月からの秋物商戦においても苦戦する。
	百貨店（売場担当）	・値引販売に客が慣れてきており、バーゲン期の売上も期待できるものではない。 ・中元商戦も非常に厳しい。
	百貨店（営業担当）	・夏休みに向かい、レジャー費用増加の中、衣料品はセール期になり客単価が低下する傾向にあるが、改装前の売り尽くしセールによる売上拡大がある。
	百貨店（営業担当）	・市内、郊外大型店が出そろった中で、客の取り合いが続く、消費喚起はなされているが客の目はシビアであり、大きな景気回復は見込めない。
	スーパー（店長）	・客数は減ってはいないが、買上点数を増加させるための、値ごろ感のある売価設定による利益減少など、厳しい状況は続く。
	スーパー（店長）	・地域柄、問題が発生している自動車会社関連の客が多く、雇用不安に陥っている人が多い様子で、今後の来客数に負の影響を与える。
	スーパー（店舗運営担当）	・客が総額表示に慣れるためには、あと2～3か月かかるかと予測している。それまでは、ほとんど様子は変わらない
	衣料品専門店（店長）	・3か月前の状況から見ると、客によっては景気が良いなと感じるときもあるが、全体的には景気が上向いていると見受けられず、この傾向が続く。
	衣料品専門店（販売促進担当）	・最近、割引の案内を顧客に出しても、来客の増はなくなった。 ・秋物商品がまだ具体的に何が売れるか見えてこない。
	家電量販店（店長）	・エアコンなど季節商品のみ好調であることから、身の回りの景気は、今後も変わらない。
	その他飲食〔ハンバーガー〕（経営都市型ホテル（従業員））	・BSEの再発など、まだ食に対する環境が変わっておらず、当分続く。 ・夏季営業のビアガーデンの予約状況に好転の気配がない。
	タクシー運転手	・景気全体は少し良くなっているように思われるが、タクシーが500台増車されるので、横ばいややや下降する。
	タクシー運転手	・客の声には景気の不安材料が多く、乗車客数も依然として少ない。
	設計事務所（経営者）	・仕事は小さい物がほとんどであるが、仕事内容は厳しい物が多く、また依然として大きい仕事が出る予定もなく先行きは暗い。
	住宅販売会社（販売担当）	・展示場、現場発表会、分譲売など来客数が減少し続けている。
住宅販売会社（従業員）	・新築の需要は、あまり回復してきていないが、増改築工事は、順調に伸びてきていて今後も続く。	

	やや悪くなる	商店街（代表者）	<ul style="list-style-type: none"> ・景気回復が一般消費者の収入増加につながっていない様子である。 ・消費者の購買基準が、衣料・食品から、旅行など嗜好に使う傾向が強くなってきているため、先行きが見えない。
		スーパー（店長）	<ul style="list-style-type: none"> ・商圈に、問題が発生している自動車会社関連の客が多く、購買意欲は少し鈍るのではないかと予測しており、今後の景気動向が心配である。
		スーパー（店長）	<ul style="list-style-type: none"> ・今後も競合店の進出が続くため、やや悪くなると予測している。
		ゴルフ場（営業担当）	<ul style="list-style-type: none"> ・社内で3か月の来客予想をしているが、その中でも前年に比べ縮小傾向で推移する。
	悪くなる	商店街（代表者）	<ul style="list-style-type: none"> ・夏物のセールが6月の段階で始まったため、今後、セール商品が無くなる。
		百貨店（売場担当）	<ul style="list-style-type: none"> ・7月のセールのため一時的には良くなるが、苦戦は続く。 ・メーカーが消極的になっており、8月の実績が確保でき
企業動向関連	良くなる		
	やや良くなる	木材木製品製造業（経理担当）	<ul style="list-style-type: none"> ・今の状況から見て、個人消費が若干上向くと思われる。
		化学工業（総務担当）	<ul style="list-style-type: none"> ・主力取引先業界である、自動車業界・電機業界の好調が続く。
		金属製品製造業（総務担当）	<ul style="list-style-type: none"> ・得意先からの受注量が非常に潤沢であり、今後、半年以上好調に推移する。
		輸送用機械器具製造業（経理担当）	<ul style="list-style-type: none"> ・顧客からの大幅な増産要請を受けることとなった。
		金融業（営業担当）	<ul style="list-style-type: none"> ・情報関連の会社が、県中央部や山陰進出の打診が出てきた。 ・長期金利の上昇の話もあり、今まで銀行借入に見向きもしなかった企業が、1,000万円から2,000万円程度であるが、手元運用資金の借入を検討し始める動きも出てきた。
	広告代理店（営業担当）	<ul style="list-style-type: none"> ・建設業は相変わらず公共工事の減少であえいでいるが、ハウスメーカー、携帯電話を始めとするOA関連、介護福祉産業がじりじりと復調してきている。 	
変わらない		食料品製造業（総務担当）	<ul style="list-style-type: none"> ・今年の練り物製品業者売上は落ちている。総額表示の負担をメーカーに回す動きが続いており、単品利益が薄いため厳しい状況が続いている。
		化学工業（総務担当）	<ul style="list-style-type: none"> ・先月から大きな変化はない。経費節減や業務の合理化・効率化などの社内体制の整備により少し利益が出るようになったが、物流費の上昇や原燃料費高の影響を受け収益面での景気回復は厳しい状況が続いている。
		窯業・土石製品製造業（総務経理担当）	<ul style="list-style-type: none"> ・好調は今後も継続見込みであり、生産量も現在の水準が続く見込みであるが、原材料の高騰がどの程度影響するか気がかりである。
		鉄鋼業（総務担当）	<ul style="list-style-type: none"> ・鋼材需要について国内・輸出とも堅調（特に自動車・造船向けなど）に推移しているため、好況感は変わらない。 ・北米とした自社製品の受注が順調に入ってきている。
		一般機械器具製造業（経営企画担当）	
		電気機械器具製造業（総務担当）	<ul style="list-style-type: none"> ・向こう3か月好調な受注が入っている。
		電気機械器具製造業（広報担当）	<ul style="list-style-type: none"> ・液晶については、今後急速に落ち込むということは考えにくく、現状が安定して続くと見られるが、レーザー関連は、市場競争が厳しく、今後も厳しい状況が続く。
		輸送用機械器具製造業（総務担当）	<ul style="list-style-type: none"> ・受注量、生産量は共に非常に好調であるが、原材料値上げ、円高などの不安要因もあり、3か月先は読みきれないこと、価格を抑えたままでの品質向上要求が強まりつつあり、業界におけるコスト削減と効率化促進の取組は一層厳しさを増しているため、社内対処に収まらず、合従連衡の動きが今後も続く。
		通信業（営業企画担当）	<ul style="list-style-type: none"> ・通信サービスの受注傾向が乗り換え主体で新規開拓が少なくなること、価格を抑えたままでの品質向上要求が強まりつつあり、業界におけるコスト削減と効率化促進の取組は一層厳しさを増しているため、社内対処に収まらず、合従連衡の動きが今後も続く。
		不動産業（経営者）	<ul style="list-style-type: none"> ・長期金利の変動が上向きである。これが良い方向に結び付かない可能性を秘めているので、景気は変わらない。
やや悪くなる		建設業（経営企画担当）	<ul style="list-style-type: none"> ・依頼物件が公共工事中心に多くなっていることには期待が持てるが、他社との価格競争は一段と厳しい状況にあるため、景気が良くなるとは考えられない。
		建設業（営業担当）	<ul style="list-style-type: none"> ・民間関係において、製造業の担当者からは設備投資は秋まで延びそうな状況である。

	悪くなる	-	-
雇用 関連	良くなる	求人情報誌製作会社 (支店長)	・どの業種においても、特に求人意欲の陰りは感じられない。今まで躊躇していた企業も、求人を行うケースが増えてきた。
	やや良くなる	人材派遣会社(支店長)	・雇用に関しては表面的には確実に良くなっていく。しかしながら、人が採用できないことによる倒産も予測される。
		新聞社[求人広告] (広告営業担当)	・景気を左右する基幹産業の好調など、一部分野ではあるが、好景気に転換している。
		職業安定所(職員)	・求職者数の減少傾向が出ている。 ・新規求人も前年に比べ増加の見通しである。
	変わらない	学校[大学](就職担当)	・地方企業の求人ピークは現在であり、今後もこのピークは続く。
		人材派遣会社(経営者)	・人材派遣の需要は堅調にあるが、有効求人倍率の上昇とともに、登録者が質、量ともに不足しており、人材の供給が難しくなっている。
		求人情報誌製作会社 (支社長)	・かなり回復基調になってきており、このままの状態が継続すると見込んでいる。
		新聞社[求人広告] (担当者)	・新聞広告の求人関係では、依然としてあまり顕著に良くなるはなっていない。
		職業安定所(職員)	・各業種とも停滞状況が続いている。 ・求人募集は欠員補充にとどまっている。
		職業安定所(職員)	・製造業において、海外移転によるコスト削減を行うため大幅な人員整理を行う予定がある。
やや悪くなる	学校[短期大学] (就職担当)	・都市圏の大手企業人事担当者から「今年度は多くの業種・業界で採用増が見込まれる」という話を聞いたが、地方がそうした都市部好景気化の恩恵をどれだけ受けられるかは全く不確定である。地方の中小企業は依然として景気の先行きに不透明感を抱いており、慎重姿勢は崩していない。	
	悪くなる	-	-